

令和7年度（2025年度）
兵庫県立大学大学院環境人間学研究科
博士後期課程学生募集要項
特別選抜（推薦）

【連絡先】

〒670-0092

姫路市新在家本町1-1-12

兵庫県立大学姫路環境人間キャンパス学務課

電話 (079) 292-1513

FAX (079) 292-1530

問い合わせ受付時間 平日9:00~17:00

目 次

	頁
I. 令和7年度4月入学募集要項	1～3
1 募集人員	
2 出願資格	
3 出願期間	
4 出願手続	
5 試験の方法及び日時場所	
6 合格発表	
7 入学手続	
8 入学料及び授業料	
9 注意事項	
10 不測の事態について	
11 長期履修制度について	
II. 環境人間学研究科（博士後期課程）教員表	4

【出願手続に関する提出書類等】

- ① 入学願書 (様式1)
- ② 推薦書 (様式2)
- ③ 博士前期課程における研究概要 (様式3)
- ④ 博士後期課程における研究計画書 (様式4)

※ 試験会場案内図

教育ポリシー（大学院環境人間学研究科） 抜粋

1. 育成する人材像

環境人間学研究科では、次のような人材を育成することを目指す。

- ① 環境と人間に関する学際的、融合的なアプローチを通じて、新たな環境創造を担う高度な識見と、環境に関する諸問題を体系的・総合的に分析・解明できる研究力を有する人材
- ② 人間学の基本に立ちながら、21世紀の自然環境、科学技術、地域社会、人間、あるいはその関係性はどうかという視点で考究し、社会のニーズに応える高度な専門知識と問題発見能力を備えた人材

2. アドミッション・ポリシー

- ①入学前に必要な能力や適性など
(博士後期課程)

<求める学生像>

- 1) 環境に関する諸問題に関心を持ち、専門職業人としての基礎的な学問を学び、研究を行う意欲がある人
- 2) 環境に関する諸問題に対して、より広い視野、高度な知識、鋭い先見性をもって、体系的な問題発見・分析能力、および技術を身に着けることを目指している人
- 3) 環境に関する諸問題に対応する方策を具体的に考察し、知的好奇心を持って積極的・活動的に取り組む行動力がある人
- 4) 環境と人間との相互作用として、人間の健康や文化の多様性を探求し、環境共生社会の実現に向けた具体的な方策を考えようとしている人

<アドミッション・ポリシー>

- 1) 知識・技能

博士後期課程では、博士前期課程で学んできた専門分野の知識と、環境と人間に関する諸問題を体系的・総合的に分析・解明できる能力を駆使して、現代社会が抱える様々な課題を捉えて、その解決を行うことのできる高度な知識と技術を身に付けることができる人

- 2) 思考力・判断力・表現力

研究者および社会人としての経験や仕事を通して、環境人間学の大切さを認識し、その実践力を発揮するための思考力、判断力、表現力を身に付けることができる人

- 3) 主体性・多様性・協働性

人間社会のニーズに応える諸課題に対して、環境人間学を積極的に応用し、国際的な視野に立って解決の方策を実践するための主体性、多様性、協働性を身に付けることができる人

②入学後に求めること・持つべき目的、意欲など

(博士後期課程)

<求める学生像>

これらの分野で、次代を担う環境人間学に関する学術的・実践的な新たな学際研究を開拓し、そこで創出される研究成果を実社会に最大限に換言することによって、地域社会やグローバル社会の発展に貢献するための研究意欲にあふれた人

③入学前に学習しておくことが期待される内容

(博士後期課程)

環境人間学研究科博士後期課程で学ぶために必要な大学院博士前期課程修了相当の基礎学力と、幅広い教養及び高度な専門性

④入学選抜における評価方法、その比重等

(博士後期課程)

本研究科では、国内外の大学で博士前期課程あるいは修士課程で修士を取得した人、社会人として本研究科の研究課題と関係のある業務に携わってきた人など、広い分野からの学生を求めている。

本研究科では、入学者選抜の基本方針として、受験機会の複数化を保証し、本研究科の教育理念・目標に合致した学生の選抜を行っている。博士後期課程では、特別選抜（推薦）、一般選抜、特別選抜（社会人、外国人）を実施している。入学者の選抜は、口述試験、面接、および出願書類により、志願者の能力や資質に関する総合的な評価に基づき、研究能力を有する人材の選抜を実施している。出願書類審査により、文章力、語学力、専門的知識等について評価し、口述試験及び面接によりプレゼンテーション能力についても評価する。

令和7年度兵庫県立大学大学院環境人間学研究科 博士後期課程学生募集要項 特別選抜（推薦）

1 募集人員

環境人間学専攻 若干名

2 出願資格

以下の（１）～（３）のすべてを満たす者

- （１）現在本研究科博士前期課程に在籍し、令和7年3月31日までに修了見込みの者
- （２）本研究科博士後期課程研究指導教員より推薦を受けた者
- （３）合格した場合に、入学することを確約できる者

3 出願期間

令和6年7月22日（月）から8月1日（木）まで（必着）

平日の午前9時30分から午後4時まで姫路環境人間キャンパス学務課で受け付ける。

土曜・日曜・祝日は受け付けない。

4 出願手続

下記の書類を本学学務課に提出する。

- （１）入学願書（提出前3か月以内に撮影した写真を2枚貼付）（様式1）
- （２）本研究科博士後期課程研究指導教員の推薦書（様式2）
- （３）博士前期課程における研究概要（本学所定の用紙に日本語で記入のこと）（様式3）
- （４）博士後期課程における研究計画書（本学所定の用紙に日本語で記入のこと）（様式4）
- （５）出身大学の成績証明書及び博士前期課程の成績証明書
- （６）TOEIC、TOEFL-iBT(Home editionを除く。出願スコアは、Test Data Scoreのみ認め、My Best Scoreは認めない。)のうちいずれかをあらかじめ会場受験した上で、その成績証明書（公式認定証）のコピー（成績証明書の有効期限は、願書提出期限日から3年以内とする。すなわち、証明書発行日が令和3年8月1日～令和6年8月1日までのもの。）
- （７）受験票返送用封筒（長形3号封筒に住所、氏名を記載、「速達」と朱書きし切手344円を貼付する）ただし、願書提出期限の翌日以降に受験票を取りに来る者は不要。

5 試験の方法及び日時場所

- （１）口述試験：博士後期課程の研究内容に関する20分程度のプレゼンテーションを含む。
- （２）令和6年8月23日（金）10:00～
- （３）兵庫県立大学姫路環境人間キャンパス（詳細は当日、F棟前掲示板にて通知）

6 合格発表

令和6年8月29日（木）午後2時

兵庫県立大学環境人間学部・研究科のホームページ（<https://www.u-hyogo.ac.jp/shse/koho/index.html>）に掲示するとともに、合格者には郵便により通知する。

電話による問い合わせには、応じない。

7 入学手続

手続期間 令和7年3月上旬（入学手続書類は3月に郵送予定）

8 入学料及び授業料

（令和6年4月1日現在）

区 分	入学手続時 （令和7年3月）	令和7年5月	令和7年10月	計
入 学 料	—	—	—	—
授 業 料	—	267,900円	267,900円	535,800円
諸 経 費	36,000円	—	—	36,000円

※兵庫県公立大学法人授業料等に関する規程が改正された場合はその金額による。

9 注意事項

（1）口述試験に含まれる「プレゼンテーション」について

プレゼンテーションの内容は、博士後期課程の研究内容に関するもので、時間は20分程度とし、原則としてパソコン（以下、PC）を使用して実施してください。

試験当日に発表用のデータが入ったUSBメモリを持参し、そのデータを用いてプレゼンテーションを行ってください。試験開始前に、作動確認を行います。

データはオフラインで発表できる内容で作成してください。トラブルが起きた場合を想定し、プレゼン資料を紙に印刷して持参したり、自分のPCを持参したりして、各自で対策をとるようにしてください。

PCは原則大学が用意したPC（Windows11, PowerPoint2016）を使用していただきますが、トラブルが発生した場合は持参したPCの使用を認めます。

（2）出願者は、希望する研究の指導教員とあらかじめ協議の上、出願してください。

（3）出願書類等を郵送する場合は、封筒の表に出願書類在中と朱書きし、簡易書留で郵便局の窓口から発送してください。（締切当日必着） 送付先：〒670-0092 姫路市新在家本町1丁目1-12 兵庫県立大学姫路環境人間キャンパス学務課

10 不測の事態（交通機関の乱れ、災害発生等）について

（1）試験当日、台風や地震等不測の事態により交通機関が途絶したり遅延した場合、状況によっては試験時間を繰り下げたり、試験日を変更するなどの措置をとることがある。

（2）そのような事態が発生したときは、午前8時以降環境人間学部のホームページ上に掲載するので確認をすること。（<http://www.u-hyogo.ac.jp/shse/koho/index.html>）

（3）問い合わせは兵庫県立大学姫路環境人間キャンパス学務課（TEL 079-292-1513）まで

11 長期履修制度について（希望者のみ）

（1）趣 旨

この制度は、職業を有している等の事情により、標準修業年限（博士前期課程2年、博士後期課程3年）では大学院の教育課程の履修が困難な学生を対象とし、事情に応じて標準修業年限を超えて計画的に教育課程を履修し修了することにより学位を取得することができる。

（2）対象となる学生

長期履修を申請することができる学生は、本学に在学する者及び入学する予定の者のうち、次のいずれかに該当する者である。

- ア 定まった職業を有する者（自営業及びフルタイムの有職者と同等の勤務状況にあると認められる臨時雇用を含む）
- イ 家事、育児、介護等を行う必要のある者
- ウ 障がいのある者
- エ その他長期履修が必要となる特別な理由があると認められる者

(3) 申請手続

長期履修を希望する学生は、入学手続後、指導教員に相談の上、次のア、イ、ウの書類を、姫路環境人間キャンパス学務課へ提出すること。

- ア 長期履修許可願（様式第1号）（添付省略）
- イ 長期履修計画書（様式第2号）（添付省略）
- ウ 証明書類
 - ① 会社等に勤務する者は、所属長の在職証明書
 - ② 家事、育児、介護等に従事している者は、家事、育児、介護等に従事していることの証明書又は申立書
 - ③ 障がいがあることを証明するもの
 - ④ 本人の健康状態を理由として申請する者は、医師の診断書
 - ⑤ その他研究科長が提出を求める書類

(4) 長期履修を認める期間

長期履修を認める期間（以下「長期履修期間」という）は、博士前期課程にあつては3年以上4年まで、博士後期課程にあつては4年以上6年までであつて、その期間は1年単位である。

(5) 長期履修期間の変更

長期履修を許可された者（以下「長期履修者」という）が対象に該当しなくなった場合は、次年度から履修期間を当該課程の修業年限等に変更することを申し出ること。

長期履修期間の短縮は、3月修了予定者については、短縮により修了することとなる年度の11月1日から11月末日まで、また、9月修了予定者については、短縮により修了することとなる年度の5月1日から5月末日までに、長期履修期間の延長は、4月入学者については、延長により修了することとなる年度の11月1日から11月末日まで、10月入学者については、延長により修了することとなる年度の5月1日から5月末日まで（いずれも、最終日が休日の場合、その翌日）に長期履修期間変更申請書（様式第3号）を学務課に提出すること。長期履修期間の変更は、当該課程において、1回限りである。

なお、長期履修期間を短縮する場合は、短縮が認められるときに短縮に係る授業料の差額が必要となる。

(6) 長期履修制度に係る授業料

兵庫県立大学授業料等に関する規程で定められた大学の授業料の年額に標準修業年限に相当する年数を乗じて得た額を長期履修期間の年数で除した額とする。

なお、在学中に授業料の改定が行われた場合は再計算される。

$$\text{長期履修者の年間の授業料} = \frac{\text{通常の授業料} \times \text{標準修業年限}}{\text{長期履修期間の年数}}$$

II. 環境人間学研究科（博士後期課程）教員表

*印は、研究指導教員

(令和6年4月1日現在)

授業科目	担当教員(研究部門)及び授業等の概要
環境人間学 特別演習	<p>本特別演習は教員の個別のフィールドから、環境と人間の相互関係について考察し、総合的に捉えることができるようにする。また、これらに隠されている問題を正しく認識・評価し、問題の解決をめざし、好ましい環境創造のための新しい知の体系化を考究することにより、それぞれの専門領域における諸問題を総合的に考察し、解決できる能力を深めさせる。</p> <p>[人間環境部門]</p> <p>有満 秀幸 教授（食品の安全性について微生物学の視点から） *伊藤美紀子 教授（疾患における代謝異常と栄養療法の視点から） *乾 美紀 教授（マイノリティの教育問題とそれに対する教育支援の視点から） 井上 靖子 教授（臨床心理学、心理療法とカウンセリングの視点から） *内田勇人 教授（子どもの発達と健康、高齢者の健康の視点から） *尾崎公子 教授（教育政策の視点から） *加藤陽二 教授（食品・生命科学と生活環境の視点から） 金子一郎 准教授（老化予防栄養学の視点から） 鄭 成 教授（個人史の視点から） *寺西雅之 教授（文体論および英語教育・学習論の視点から） 中出麻紀子 准教授（健康的な食事・食習慣と関連要因の視点から） *永井成美 教授（生体内環境と食との関わりという視点から） *村上 明 教授（食品成分の機能性についてストレス応答の視点から） *吉田 優 教授（代謝物解析の視点から） *吉村美紀 教授（食品に対するヒトの感覚機能と健康の視点から）</p> <p>[社会環境部門]</p> <p>*赤澤宏樹 教授（緑地計画学の視点から） *石田弘明 教授（植生学の視点から） *宇高雄志 教授（人間居住の視点から） *宇野康司 教授（地質学の視点から） *太田尚孝 教授（都市計画学の視点から） *大橋瑞江 教授（生態系の構造と機能の視点から） *木村玲欧 教授（社会科学的的手法による災害・防災研究の視点から） *栗山武夫 准教授（哺乳類の生態系管理の視点から） *高橋鉄美 教授（進化生態学の視点から） 中桐斉之 准教授（生態環境と情報科学的な視点から） *中嶋一憲 教授（環境経済学の視点から） 藤木大介 准教授（野生動物管理と森林管理の視点から） 三田村哲哉 教授（建築意匠学の視点から） *安枝英俊 教授（建築計画学の視点から） *山端直人 教授（野生動物管理と農村計画学の視点から） *横山真弓 教授（野生動物管理学の視点から） *森光由樹 准教授（保全生態学の視点から）</p>

博士後期課程
(樣式)

令和7年度

兵庫県立大学大学院環境人間学研究科博士後期課程特別選抜（推薦）入学願書

環境人間学専攻		受験番号		※			
フリガナ				性 別	1. 男 2. 女	生 年 月 日	S・H 年 月 日
氏名							
出願資格	出身学校	兵庫県立大学環境人間学研究科博士前期課程 令和 7年 3月 修了見込み					
現住所	〒 - TEL () -						
緊急連絡先	住所 氏名	〒 - TEL () - 続柄				※入学考査料 領収印	

※欄は、記入不要 裏面にも記入のこと

令和7年度兵庫県立大学大学院環境人間学研究科
博士後期課程特別選抜（推薦）写真票

受験番号	
※	
フリガナ	
氏名	
生年月日	年 月 日生
出身学校	兵庫県立大学大学院博士前期課程

写真貼付欄

受験票と同じものを貼る
4cm×3cm

入学考査料
領収印

兵庫県立大学大学院 環境人間学研究科

令和7年度兵庫県立大学大学院環境人間学研究科
博士後期課程特別選抜（推薦）受験票

受験番号	
※	
フリガナ	
氏名	
生年月日	年 月 日生
出身学校	兵庫県立大学大学院博士前期課程

◇試験日
令和6年8月23日（金）

◇試験場所
兵庫県立大学
姫路環境人間キャンパス

写真貼付欄

提出前3か月以内に撮影した写真（無帽・上半身正面）
4cm×3cm

入学考査料
領収印

兵庫県立大学大学院 環境人間学研究科

学 歴	年 月
	年 月
	年 月
	年 月
	年 月
	年 月
職 歴	年 月
	年 月
	年 月
	年 月
	年 月

- 注意
- 1 緊急連絡先の欄は、本人に必ず連絡できるものを記入すること
 - 2 ※印のところは記入しないこと
 - 3 黒のペン又はボールペンで丁寧に記入すること
 - 4 学歴は高等学校入学時から記入すること
 - 5 この用紙は切り離さないこと

推薦書

令和 年 月 日

兵庫県立大学大学院
環境人間学研究科長 様

兵庫県立大学大学院環境人間学研究科
博士後期課程研究指導教員
職・氏名

印

兵庫県立大学大学院環境人間学研究科博士後期課程入学（令和7年4月入学）志願者として、下記の者を推薦し、入学した場合、その研究指導を行うことを承諾する。

志願者	ふりがな 氏名 (生年月日)	昭和 年 月 日生 平成
	所属・職名	

(志願者の研究分野、素質、将来の希望等、ご意見を下欄にご記入下さい。)

--

博士前期課程における研究概要

博士前期課程環境人間学専攻

氏名 _____

研究題目

研究概要

博士後期課程における研究計画書

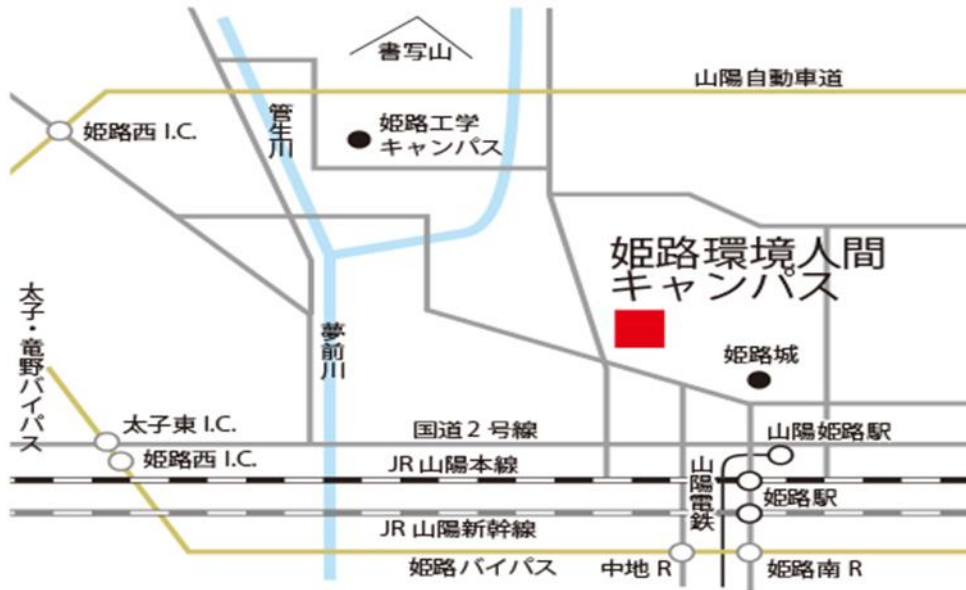
氏 名 _____

研究題目

研究概要

試験会場案内図

兵庫県立大学 姫路環境人間キャンパス

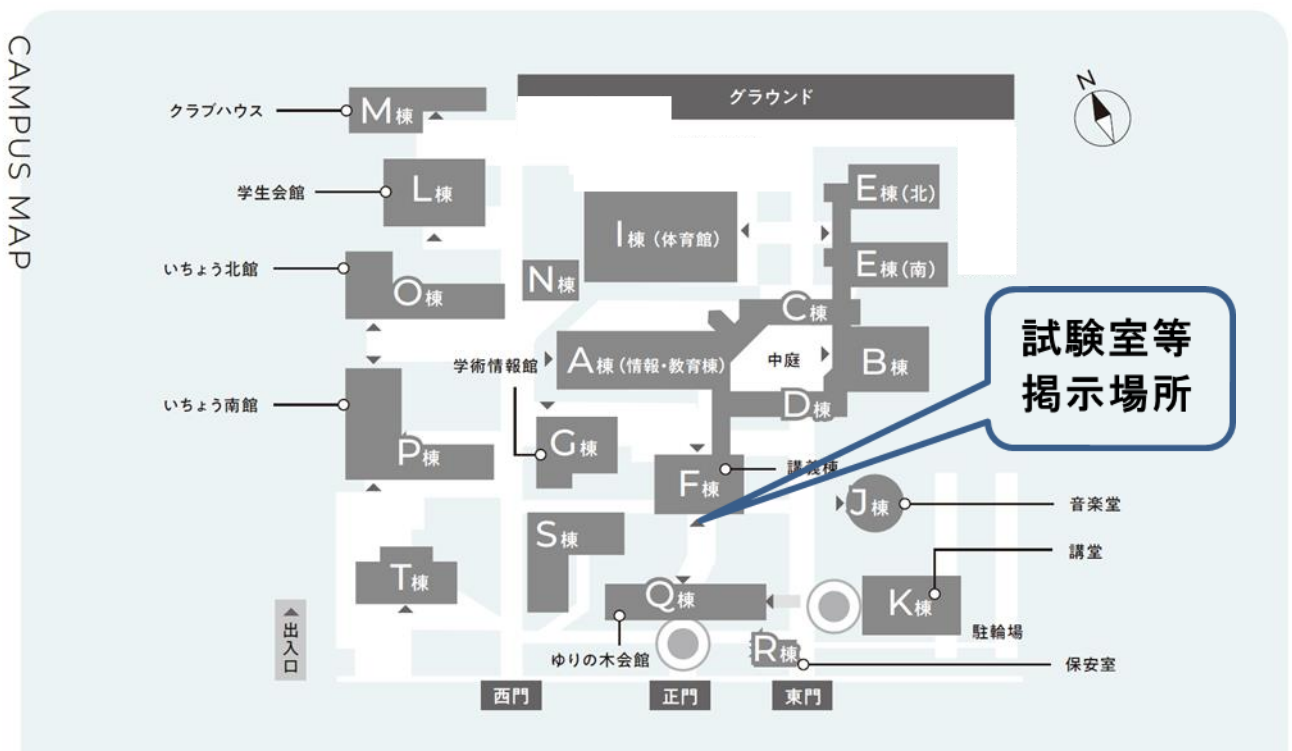


【交通】 姫路駅（JR・山陽電車）前の神姫バス9番・10番乗り場から出発するバスは全て「県立大環境人間学部」を經由します。

※バスを利用する方は、姫路工学キャンパス行きのバスに乗らないように注意してください。

※タクシーを利用する方は、「新在家の環境人間学部」と告げて、姫路工学キャンパスでないことを明確に伝えてください。

キャンパス内建物配置図



兵庫県立大学大学院環境人間学研究科

ホームページ <http://www.u-hyogo.ac.jp/shse/koho/index.html>

〒670-0092 兵庫県姫路市新在家本町1丁目1番12号

TEL (079) 292-1513 (学務課直通)

FAX (079) 292-1530